

公衆衛生学学位プログラム(修士課程)

基礎科目(学術院共通専門基盤科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAS0507	社会医学概論	1	2.0	1	春AB	木1,2		市川 政雄, 福重 瑞穂, 田宮 菜奈子, 森田 展彰, 齋藤 環, 大谷 保和, 山岸 良匡, 近藤 正英, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, Togoobaatar Ganchimeg, 伊藤 智子, 笹原 信一郎, 大久保 麗子, 堀 愛, 堀 大介, 本田 克也, 菅野 幸子	人びとの健康に寄与する要因が多岐にわたること、人びとの健康を増進するには学際的な取り組みが欠かせないことを理解することを目標とする。社会医学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	01EQ005と同一。英語で授業。

基礎科目(公衆衛生学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATHA11	疫学概論	1	1.0	1	春AB	火3	4F204	我妻 ゆき子	健康ないし疾病の要因について人間集団を対象にして宿主(host)、病因(agent)、環境(Environment)の各面から包括的に究明し、法則性を見いだす疫学の原理について学ぶ。 目標: 初歩的な研究デザインについて概観し、人間集団を対象とした研究を行う際の研究実施計画の重要性を理解する。疫学の基本を理解し、その基本的手法と用法について説明することができる。	英語で授業。
OATHA12	医生物統計学概論	1	1.0	1	春AB	水3	4F204	五所 正彦, 丸尾 和司	医科学領域における統計学的アプローチの具体的方法について学ぶ。検定、推定、相関、回帰、分散分析、多変量解析、生存時間分析など、特に応用の広い重要な手法を理解し、正しく手法を用いるための基礎を学ぶ。	英語で授業。
OATHA13	医生物統計学実習	3	1.0	1	春AB	水5,6	4F305	丸尾 和司, 五所 正彦	統計解析ソフトウェア SAS OnDemand for Academics を用いて、医学データ解析に用いられる統計手法の実践を学ぶ。	英語で授業。
OATHA14	公衆衛生学特別演習	2	8.0	2	通年	応談		公衆衛生学学位プログラム各教員	修士論文を作成するための研究の実践および指導を行い、論文指導を行う。	英語で授業。
OATHA15	疫学・生物統計学セミナー	2	2.0	1	通年	火6		我妻 ゆき子, 五所 正彦, 田宮 菜奈子	疫学や生物統計学に関する講義の補完として、関連する教科書を読み、原著論文を担当を決めて紹介し、セミナー形式にてディスカッションすることで学習効果を高める。 目標: 疫学や生物統計学的手法やその応用についてさまざまな観点から論じることができる。	英語で授業。
OATHA16	量的研究の批判的評価法	1	1.0	1	春C	月・木 3,4	4F204	Togoobaatar Ganchimeg	この科目では、科学論文において使用された手法や解析について、クリティカル・アプレイザルを行う機会を提供する。それぞれの専門領域におけるクリティカル・アプレイザルのフレームワークを応用して、エビデンスに基づく実践について議論を行う。	英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
OATHA17	システマティックレビュー・メタアナリシス入門		1	2.0	1	秋AB	月2,3	4F305	Togoobaatar Ganchimeg	システマティックレビューやメタ解析は、エビデンスに基づく臨床や公衆衛生実施を含め、意思決定のために大変有用な手法である。この科目では、システマティックレビューに関する詳しい説明を段階を踏んで行う。また、その強みや限界についても討議する。レビューエッセイの作成、文献検索、研究の質の評価、データ抽出、メタ解析手法や報告書作成についてを含める。RevMan統計ソフトを利用し、PubMedによるレビューやメタ解析演習を行う。	英語で授業。

基礎科目(大学院共通科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OA00314	地球規模課題と国際社会: 感染症・保健医療問題		1	1.0	1-5	秋C	集中	我妻 ゆき子, 近藤 正英	国連が提起した「持続可能な開発目標(SDGs)」に密接に関わる国際社会が直面する課題を理解し、大学院生各人に国際社会の一員としての自覚を誘起することで、高等教育を受けた者が果たすべき役割と責任について熟考させることを目的とする。 当科目は「持続可能な開発目標(SDGs)」のうち、Goal 3に関連した、国際社会が直面する「感染症・保健医療問題」について取り扱う。	英語で授業。

専門科目(公衆衛生学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
OATHE21	健康行動科学論		1	1.0	1-2	秋AB	水3	4E608	笹原 信一郎, 斎藤 環, 松崎 一葉, 森田 展彰, 大井 雄一, 大谷 保和, 道喜 将太郎, 堀 大介	目標:ヘルスプロモーションの概念および保健行動の変容の理論と方法を環境ストレス各分野での実例を通して理解する。保健行動の変容について様々な観点から論じることができる。	英語で授業。
OATHE22	保健医療政策学		1	1.0	1-2	秋AB	木3	4F204	近藤 正英, 大久保 麗子	1. 保健医療政策論の基礎を学び世界の保健システムの課題を学ぶ。 2. わが国の保健医療制度の現状と課題を学ぶ。 目標:保健医療システムについて、基礎的な理論を踏まえたうえで、保健医療政策的な視点から論じることができる。 (1) 健康、保健医療、政策について解説する。 (2) 健康の決定要因と政策について解説する。 (3) 国家の役割と保健システムについて解説する。 (4) 日本の医療提供制度について解説する。 (5) 日本の医療保障制度について解説する。 (6) 保健医療政策学の実践について解説する。 (7) グローバルヘルスポリシーについて解説する。 (8) 保健医療政策過程論について解説する。 (9) 保健医療計画論について解説する。 (10) 健康政策、保健医療政策の広がりについて解説する。	英語で授業。
OATHE23	医療管理学		1	1.0	1-2	秋AB	木4	4F204	田宮 菜奈子, 杉山 雄大, 森 隆浩, 岩上 将夫	1. わが国の保健医療介護サービスの管理に必要な制度を学ぶ。 2. わが国の保健医療介護福祉のサービスの実態を学ぶ。 3. 保健医療介護 サービス管理の視点からヘルスサービリサーチを学ぶ。 目標:保健医療介護福祉の制度とその現場での管理について、基礎的な理論を踏まえたうえで、ヘルスサービリサーチの視点から論じることができる。	英語で授業。
OATHE24	医療経済学		1	1.0	1-2	秋C	集中	4F204	近藤 正英, 大久保 麗子	医療経済学の基礎として、ミクロ経済学や厚生経済学の健康への応用を解説する。 目標:保健医療システムをサービスの市場としての理解できる。保健医療サービスの経済評価を吟味できる。 (1) 保健医療とお金・景気について解説する。 (2) 医療保険の経済学について解説する。(3) 需要の法則について解説する。(4) 生産理論について解説する。(5) 市場メカニズムについて解説する。(6) 医療供給者の行動について解説する。(7) 厚生経済学入門について解説する。(8) 保健医療サービスの経済評価について解説する。(9) 衡平性:正義と公正について解説する。(10) 総合討論を行う。	01DZ512と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATHE25	ヘルスサービスリサーチ概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	4F305	田宮 菜奈子, 杉山雄大, 森 隆浩, 岩上 将夫, 伊藤 智子	本講義では、保健医療福祉分野の各職種において、自らのサービス(病院だけでなく、施設ケア、在宅ケアも含む)の質を科学的に評価・分析し、日常業務に還元し、さらには学術論文に発展させようする方法の初歩を取得することを目的とする。 目標:保健医療福祉サービスに関する今日の課題をヘルスサービスリサーチの視点から論じることができる。	01DZ510と同一。英語で授業。
OATHF31	疫学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	4F305	我妻 ゆき子	疫学の原理と応用について学ぶ。情報科学や統計科学を用いて行われる疫学研究や臨床研究への応用についても学び、EBM(Evidence-Based Medicine)の研究に役立たせる。また、疫学的手法を用いた演習を実施し、疫学の実際を理解する。 目標:疫学研究の目的、方法、解析結果とその意義について説明できる。	英語で授業。
OATHF32	臨床試験論	1	1.0	1・2	秋AB	火7,8	4F204	我妻 ゆき子, 五所正彦	臨床試験は病気に対する新しい治療法や薬の安全性・有効性を検証するために行われる、ヒトを対象とした医学研究である。臨床試験は厳密な科学性と倫理性を兼ね備える必要があるため、GCP(Good Clinical Practice)と呼ばれる基準に則って実施される。本講義ではGCPに沿って臨床試験のデザインから実行までを概観する。 目標: 1. GCPに準拠した臨床試験の実施ステップについて説明できる。 2. 臨床試験に関する倫理指針を理解し、適切な研究デザインを企画し、実施するための研究プロトコールを作成できる。 3. 臨床試験の実際に関する内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のためになる質問や討論することができる。	英語で授業。
OATHF33	ヘルスプロモーション	1	1.0	1・2	秋AB	火2	4F305	安梅 勅江	ヘルスプロモーション、アドボカシー、コミュニケーション、エンパワメントの理論と実践について、多面的な研究成果を活用し取得することを目的とする。 目標:ヘルスプロモーションの今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。 (1)ヘルスプロモーション国際動向、(2)ヘルスプロモーション理論、(3)ヘルスプロモーション方法、(4)ヘルスプロモーション技術、(5)エンパワメント理論、(6)エンパワメント技術、(7)ヘルスプロモーションとアドボカシー、(8)ヘルスプロモーションとコミュニケーション、(9)ヘルスプロモーション演習1、(10)ヘルスプロモーション演習2	英語で授業。
OATHF34	環境保健学	1	1.0	1・2					環境保健学的方法論の一つである疫学の基礎を理解し、気候変動の健康影響など、環境疫学に関する問題群に関する知識を得る。 目標:健康に影響を与える基本的な環境疫学の問題について説明することができる。 (1) Introductionと疾病発生の計測について解説する。(2)因果モデルについて解説する。(3)誤分類、validity & precisionについて解説する。(4)研究デザインと解析について解説する。(5)各論:大気汚染について解説する。(6)各論:水汚染について解説する。(7)各論:放射線、電磁場について解説する。(8)内分泌攪乱化学物質について解説する。(9)各論:地球環境変化の健康影響Iについて解説する。(10)各論:地球環境変化の健康影響IIについて解説する。	英語で授業。 2020年度開講せず。
OATHF35	医生物統計学特論	1	2.0	1・2	秋AB	水4,5	4F305	五所 正彦, 丸尾和司	生物統計に関する専門書 Applied Survival Analysis の抄読会を通し、統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自らの医学研究に応用できる。	英語で授業。
OATHF36	精神保健学	1	1.0	1・2	春AB	月5	4F305	斎藤 環, 森田 展彰, 大谷 保和	目標:精神健康の問題を持つ人の評価や援助における基本的な概念、手法および社会的なシステムを理解できる。 1. ストレスのメカニズムや評価について、説明できる。 2. 心理学的な発達や危機について説明できる。 3. メンタルヘルスクエアを行う方法について説明できる。 4. 精神障害を持つ人の現状や援助システムについて説明できる。	英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0ATHF37	高齢者ケアリング学特論	1	1.0	1・2	春AB	水7		橋爪 祐美	高齢者と家族、彼らに関わる専門職や地域社会を対象にしたヒューマン・ケアリングの意味と効果を探求するために、その研究方法として質的研究の理論と実際を学ぶ。	総合D310